

第18回 九州森林フォーラム

in宮崎/諸塚

「地域が活きる林業の未来を問う」
～美しい森林は誰のものか～

2013
5/17～18
(金) (土)

場所 宮崎県諸塚村
諸塚村中央公民館

昨年全国の国産材原木市場に衝撃が走りました。原木価格が数か月で3割ダウンする、株価のブラックマンデー並みの暴落が起こったのです。半世紀かけて育てた商品が、まさに投機相場にさらされ、実業として生産に励む山主や林業家は、なすすべもなく相場に翻弄されています。

円高ユーロ安で外材流入、商社の製品在庫のたぐつぎ、国有林の大量伐採、建築需要の減退、BC材の増加など様々な表層的暴落原因が言われますが、「木材製品の販売不振」と「原木価格の暴落」に分けて分析すると、製品価格の下落は小さく、その出荷調整で原木価格の仕入れ額の急落が起こったことがわかります。

事態をさらに深刻にしているのは、原木の供給過多です。主な需要先である住宅着工数は減少しているのに、実情を知らない方の「森林資源は余剰だから、消費するべき」という論理によって出材圧力にドライブが懸かり、山元では需要を無視した伐採計画が進んでいます。「コストダウンには機械化が必須」といわれ、高価な大型機械を導入し、資金繰りもあって大規模な伐採が増え、価格が暴落しても、現場では伐るしかありません。

対策は供給側でなく、いつの間にか「需要を開拓することが大事」という論理にすり替わり、「木材自給率50%」を目標に、成長戦略として木材産業の大量生産政策が進んでいます。しかし、これは林業業界だけ限定的な感を拭えず、流通業界や建築業界には訴求していません。人口減社会であり、住宅や箱物のストックの過剰は明らかで、これ以上の需要が喚起はできるのか。建築材の自給率の回復と別に、需要の過半を占める合板、製紙の原料の国産材化とバイオマスの普及が切り札でしょうが、その原料価格は建築材よりはるかに安く、これも原木価格の更なる暴落を招く危険性をはらみます。

実際の木材を使う側では、健康志向、安全・安心、環境保全への要求は大きくなっており、その意向にマッチした商品は堅調に消費される傾向があります。これからの林業は、単なる増産政策だけでなく、実際のユーザーの要望を的確に把握し、そのニーズに合った商品を生産し、適正な販路を通じて販売促進を図ることが求められています。

森林は多種多様であり、全国一律で画一的な取り組みよりも、地域の实情にあった実践を重ねていくことが大切です。今後の森林管理のカギとなる「森林経営計画」は、単なる数字や経済論理、市場原理だけで森林を計算するのではなく、山村地域の資源を限りあるものとしてヒューマンなスケールで明確にとらえ直し、地域のなかで持続可能な森林・林業の構築を目指すべきではないか。農林家の経営とは何か、美しい森林を活かしつつ、そこに住まい、生業を続ける人たちの未来はどうあるべきか。

宮崎県諸塚村は、百年以上前に森に生きることを宣言し、世紀を超えて林業立村の道を進んできました。この地で九州森林ネットワークを中心に皆さんが集い、地域が活きる近未来の林業の新しいビジョンを描こうと考えます。

主催 NPO 法人 九州森林ネットワーク

後援 諸塚村、宮崎県、福岡県、大分県、熊本県、鹿児島県、日田市、小国町、(株)トライ・ウッド、(財)ウッドピア諸塚

お問合せ先 〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 2683

諸塚村企画課 TEL0982-65-1116 FAX 0982-65-0032 メール:kikaku@morotsuka.jp

プログラム

第1部 セミナー 5月 17日(金) 13:00~17:00
 12:00 受付開始 資料代 1,000円(会員無料)
 13:00 開会イベント
 13:10 基調講演①「美しい森が、日本の林業を救う」 講師 田中淳夫氏(森林ジャーナリスト)
 14:20 基調講演②「森林経営計画を活用した新しい地域型林業を！」
 講師 後藤國利氏(前大分県臼杵市長)

(休憩)

15:10 パネルディスカッション
 パネリスト 甲斐若佐組合長(耳川広域森林組合) 佐藤和歌子氏(NPO 法人森をつくろう)
 藤掛一郎教授(宮崎大学農学部)
 コーディネーター 佐藤宣子教授(九州大学農学部) オブザーバー 田中淳夫氏、後藤國利氏
 16:50 閉会

第2部 交流会 5月17日(金) 17:30~19:30
 交流会 参加費: 4,000円 場所: 元気四季を食べる「どんこ亭」 定員35名
 宿泊 民宿または農家民宿 5,000円(1泊朝食付)

第3部 現場研修 5月18日(土) 9:00~12:00
 09:00 集合 エキスカーション 2,000円(昼食付)
 ①研究班: 諸塚村の林業振興紹介(森林施業現場、諸塚木材加工センターほか)
 ②体験班: 森林体感エコツアー(春の山菜祭り)
 12:00 昼食 ~13:00 解散

講師 田中淳夫氏(たなか あつお)
 1959年大阪生まれ。静岡大学農学部林学科卒業。森林ジャーナリスト。主な著書に『森林からのニッポン再生』『森林異変』『いま里山が必要な理由』『日本人が知っておきたい森林の新常識』『森と近代日本を動かした男 山林王・土倉庄三郎の生涯』など多数。

講師 後藤國利氏(ごとう くにとし)
 1940年臼杵市生まれ。一橋大学社会学部卒。民間企業勤務後、1966年うすき製薬代表取締役社長。1975年大分県議会議員。1997年から臼杵市長3期12年。現在、(有)うすき林業取締役、百年の森健全育成実践クラブ代表など、林業家としても活動。

◆参加申込書	申込先: 諸塚村企画課 FAX0982-65-0032						
申込み代表者			所属				
連絡先	住所						
	TEL			e-mail			
参加者	参加希望セクション						
	2月19日						
	昼食 (山菜弁当)	フォーラム	交流会	宿泊		エキスカーション (昼食代含む)	合計
				研究コース (朝食付)	体験コース (朝食付)		
500	1,000	4,000	5,000	5,000	2,000		
(例) 森 太郎	○	○	○	○		○	12,500
コメント							
問合せ・連絡先: 諸塚村企画課 TEL0982-65-1116							